

板倉 幸恵さん (鳥取県倉吉市出身)
2017年度2次隊 青年海外協力隊
派遣国：マラウイ 職種：看護師
2019年1月6日(日)中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

地道に病院の業務改善

サチチ、マタンダーラ?

近所の子どもが声を掛けてくる。現地語で「元気?」という意味だ。このやりとりが私の毎日の日課だ。子どもたちの無邪気な笑顔に心が癒やされる。「サチチ」というニックネームはお気に入りである。

私の派遣国であるマラウイは、最貧国と呼ばれており、停電・断水は日常茶飯事だ。枝木や炭で火をおこして料理をし、井戸に水をくみに行く。モノがない中でも彼



薬を管理するケースを空き箱で作る現地の看護師

らは工夫しながらたくましく生きている。もちろん私の家にも冷蔵庫や洗濯機はない。自慢じゃないが今では火おこしもできるし、洗濯板も器用に使いこなす。この国の生活の中で私自身が成長したと思う。

私はムジンバ県にある県立病院で看護師として活動している。ここでは、病院の環境改善や業務改善を通して、患者や医療者にとって「優しい病院づくり」を目標に活動している。

言葉も文化も違う国で活動を進めるのは容易ではなく、初めて病院を訪れた時には、衝撃が走った。ナースステーションは物で散らかり、どこに何が置いてあるのかわからない状態だったからだ。「整理・整頓」という習慣のないこの国では、珍しくない光景だ。

その問題を解決する取り組みとして、空き箱を使って薬を管理するケースを現地の看護師と共に作った。小さな改善かもしれないが「塵も積もれば山となる!」とコツコツと活動している。そしてその小さな取り組みがこの国の発展につながることを願っている。